

「エコ通勤」の すすめ

マイカー通勤をはじめとする通勤交通は、
「周辺の道路渋滞」や「地球温暖化」などの原因の一つとなっています。

こうした問題に対処するためには、

一つ一つの事業所の、一人一人の通勤者が、
マイカー通勤から、
「電車やバス、自転車、徒歩など」での通勤へと
転換していくこと

がとても大切です。

ついでに国土交通省では、こうした転換を促す「**エコ通勤**」運動をはじめました。

この運動では、**各事業所の主体的**な「エコ通勤」の取り組みを**支援**するために、
「『エコ通勤』の手引き」作成をはじめとした支援メニューを準備しています。

是非、そうした手引き等をご参照いただきながら、「エコ通勤」の推進をご検討ください。



1. 「エコ通勤」のメリット

「エコ通勤」の推進は、それぞれの立場の人々に、さまざまなメリットがあります。

事業所にとって.....

- 従業員の**健康管理**につながります。
電車やバスでの通勤は、クルマ通勤のおよそ4倍[※]のカロリーを消費します。
- 通勤時の事故減少等、従業員の**安全管理**のメリットも期待できます。
- マイカー通勤者のための**駐車場経費の削減**につながります。
また、マイカー通勤を徒歩・自転車に転換することで、通勤補助の節減が期待できるかもしれません。
- **企業イメージの向上**を図ることができます。
環境への取り組みやCSRの一環として、環境報告書に記載することができます。



※) 出典:厚生労働省・健康づくりのための運動指針2006 (<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/undou01/pdf/data.pdf>)

従業員にとって.....

- 公共交通や自転車、徒歩での通勤は、**健康増進**にも役立ちます。
- **渋滞**に巻き込まれず通勤できます。
- 交通事故のリスクが減り、**安全**に通勤できます。



地域にとって.....

- 通勤時間帯の**渋滞緩和**が期待できます。
- 公共交通の利用者数が増加すれば、公共交通の**サービス水準向上**が期待できます。
- **地球温暖化防止**に寄与します。



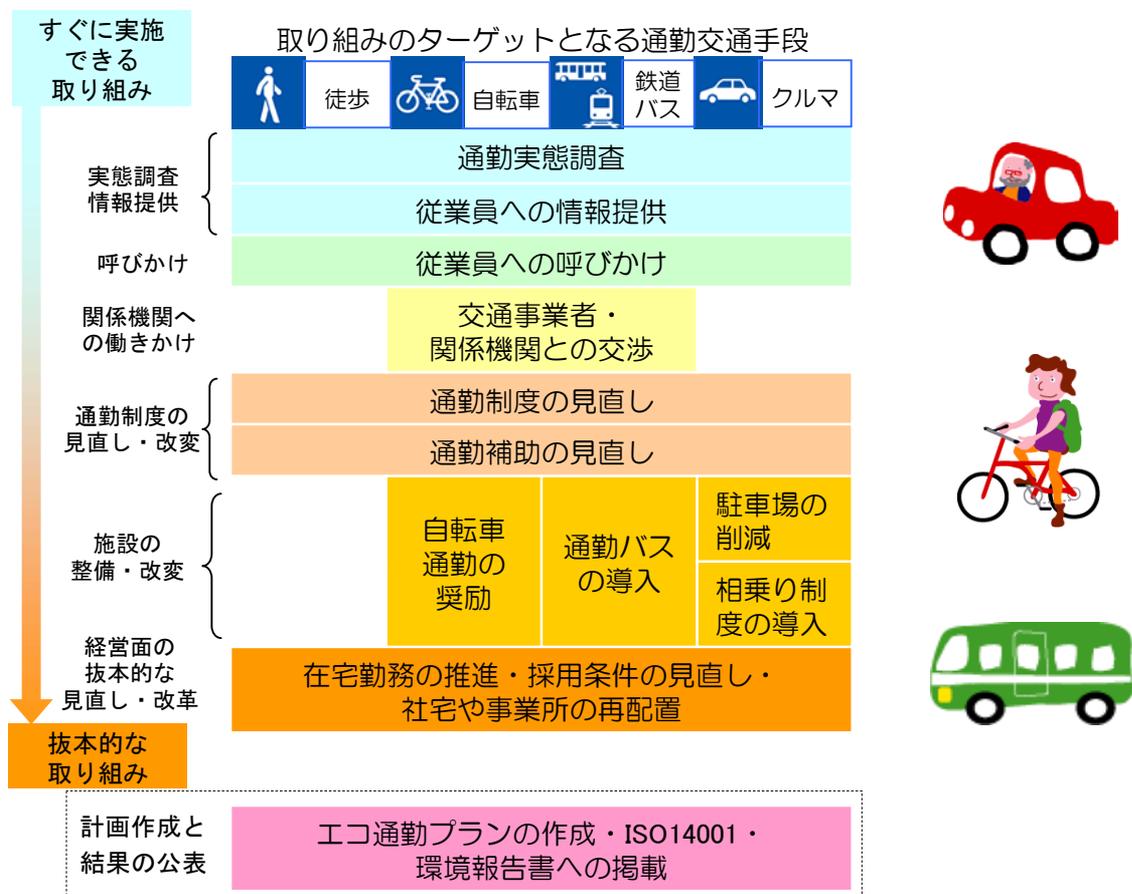
(詳細は、同封した『エコ通勤』の手引き2・3ページをごらんください。)

2. 「エコ通勤」の具体的な取り組み

「エコ通勤」の具体的な取り組みには、
 「調査や情報提供」のように「すぐ」始められるものから、
 「制度の改変」や「通勤バス導入」のような「抜本的」な取り組みまで、
 さまざまなものがあります。

これらを**継続的に、少しずつ**進めていくのが、「エコ通勤」の“コツ”です。

※ 詳しくは、同封した「エコ通勤の手引き」をご参照ください



これらの詳細は、同封の

『エコ通勤』の手引き

(8頁～15頁)

を、ごらんください。

3. 「具体的な取り組み」の代表事例

① 「エコ通勤」を促進するアンケートの実施 (京都府宇治市)

宇治地域の従業員約4,400人を対象に、

自分の通勤を振り返ってもらうための「アンケート調査票」や、
周辺の鉄道・バスの路線図・時刻等を示した「通勤マップ」等を配布。

▶事業所が多く立地している南北方向の**渋滞が3～6割程度減少**。

JR宇治・京阪宇治駅における朝7・8時台の定期外利用の降車人数が

1.45倍増加し、1年後もほぼ同様の水準を維持。



▲使用した「アンケート調査票」と「通勤マップ」

② 通勤補助の見直し (名古屋市役所)

名古屋市役所では、
マイカー通勤抑制のため、
職員に支給する

自転車通勤手当を増額
する一方、短距離(5km以内)の
自動車通勤手当を半額
に改正。

▶ **自転車通勤者が
約50%増え、
マイカー通勤は
約25%減少。**



4. 「今すぐ」できること.....

エコ通勤アンケート実施事業所の公募を行っています。 締切：平成21年9月18日
応募された事業所様には、国土交通省が以下を無償で実施します。ぜひ、ご応募ください。

① 従業員向けの 「エコ通勤」 アンケートの実施

「エコ通勤」の第一ステップとしての、**従業員向けの『エコ通勤』アンケート**。

このアンケートは、上に紹介した「京都府宇治市」の事例と基本的に同じもので、
従業員の皆様に**「エコ通勤」を考えるきっかけを提供する**ことを意図したものです。

1) 通常の紙のアンケートと、2) webアンケートの双方を用意いたしております。

② エコ通勤アドバイザーへの相談

国土交通省では、応募された事業所の担当者のみならず、
エコ通勤の「進め方」や「具体的な取り組み」について

ご相談をお受けする**「アドバイザー」**をご紹介します。

お問い合わせ先

(エコ通勤全般について)

国土交通省 総合政策局交通計画課 (担当：池田)

電話：03-5253-8275 FAX：03-5253-1549

(エコ通勤アンケートについて) エコ通勤サポートセンター Email: ecosupport@ibs.or.jp

